

再評価結果（平成25年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道185号 休山改良	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：広島県 呉市 本通 六丁目 至：広島県 呉市 阿賀中央 六丁目	延長	2.6 km		
事業概要					
<p>一般国道185号は、広島県呉市から広島県三原市に至る延長約7.2kmの主要幹線道路である。 休山改良は、呉市の東西を連絡するバイパスであり交通渋滞の緩和や交通安全の確保等を目的とした延長2.6kmの道路である。</p>					
S61年度事業化	S61年度都市計画決定	H1年度用地着手	H6年度工事着手		
全体事業費	約450億円	事業進捗率 (H23年度末現在)	71%	供用済延長	2.6 km
計画交通量	45,900台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (3便益) (事業全体) 3.0 (残事業) 2.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 109 / 568 億円 事業費 : 102/551億円 維持管理費 : 6.9/17億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 303 / 1,685億円 走行時間短縮便益 : 273/ 1,320億円 走行経費減少便益 : 22 / 245億円 交通事故減少便益 : 8.2/ 121億円	基準年 平成24年	
感度分析の結果					
<p>(事業全体) 交通量 : B/C=2.5~3.6 (交通量±10%) (残事業) 交通量 : B/C=2.4~3.2 (交通量±10%)          事業費 : B/C=2.9~3.0 (事業費±10%) 事業費 : B/C=2.5~3.1 (事業費±10%)          事業期間 : B/C=2.9~3.0 (事業期間±20%) 事業期間 : B/C=2.6~3.0 (事業期間±20%)</p>					
事業の効果等					
<p>① 円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 損失時間の削減が見込まれる</li> <li>・ 混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される</li> <li>・ 利便性の向上が期待できるバス路線が存在【広島浜呉駅線 31往復/日、天応川尻線 106往復/日、郷原黒瀬線 35往復/日 ほか3路線】</li> <li>・ 呉市から東広島駅（新幹線駅）、広島空港（第二種空港）へのアクセスが向上</li> </ul> <p>② 物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東広島市から呉港（重要港湾）へのアクセスが向上</li> </ul> <p>③ 個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大和ミュージアム（H23年間観光入込客数74万人）、グリーンピアせとうち（同16万人）、呉市立美術館（同5万人）へのアクセスが向上</li> </ul> <p>④ 安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 呉広地区から第三次救急医療施設へのアクセスが向上</li> </ul> <p>⑤ 災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広島県の第1次緊急輸送道路に指定（一般国道185号）</li> </ul> <p>⑥ 地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ CO2排出量の削減が見込まれる</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見					
<p>休山改良は、国道185号の交通混雑の解消並びに呉周辺地域の東西連携の強化、圏域の一体的な発展に大きな役割を果たすことが期待されており、呉市、東広島市、竹原市、江田島市、熊野町の首長で構成される「休山新道建設促進期成同盟会」から早期整備要望を受けている。</p>					
広島県知事の意見					
<p>継続とする対応方針については妥当である。          休山改良は、平成13年度に暫定2車線供用しておりますが、その後も交通量が増加傾向にあり、朝夕のピーク時には渋滞が発生している状況があります。また、現在整備が進められている東広島呉自動車道との連携による呉市と山陽自動車道とのネットワーク機能の強化も期待されており、今後、東広島呉自動車道の平成26年度全線供用を見据えて、休山改良の4車線化を図っていく必要があると考えております。          つきましては、今後とも引き続きコスト削減に努めながら、早期全線4車線化供用に向け、計画的に整備を進めていただきたい。</p>					

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

呉市は呉越峠を挟んで呉地区と広・仁方地区に市街地・生産拠点が存在することから、呉越峠における交通混雑が大きな課題となっていた。平成13年度に暫定2車線で供用したことで、旧国道185号（呉越峠）の渋滞は解消したものの、休山改良の周辺では開発などの状況の変化により、交通量の増加による混雑が発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成13年度に全線暫定供用しており、現在は完成4車線供用に向けて調査設計を実施している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、早期完成供用を目指し事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

・トンネル側溝にプレキャスト製薄型円形側溝の採用によりコスト縮減を行っている。【約0.3億円】

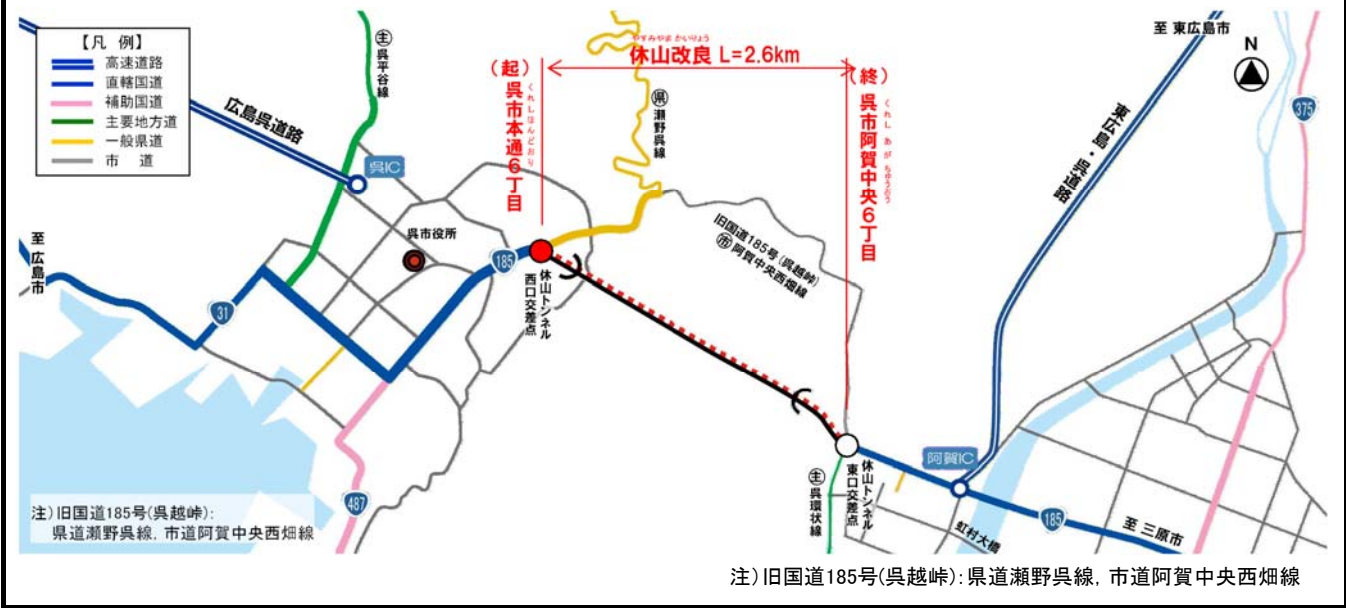
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。